

1月号

# 政策情報月報



平成20年1月号

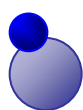


東京都議会事務局 調査部 調査情報課

## 「政策情報月報」について

「政策情報月報」では、国や東京都の政策の動向に関連する最近の新聞記事などからタイムリーな情報を幅広く収集し、都議会の議員及び各会派の皆様にご提供しております。

なお、調査情報データベースや電子メールでもご提供いたしますので、併せてご活用いただければ幸いです。



## 目 次

### 最近の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 頁

- ・ 都の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 頁
- ・ 国の主な報告、答申などの情報・・・・・・・・ 4 頁
- ・ 法律などの動き・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 頁
- ・ 地方自治トピックス・・・・・・・・・・・・・・ 7 頁

### 経済の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11 頁

- ・ 国内の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11 頁
- ・ 都内の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12 頁

### 図書館からのお知らせ・・・・・・・・・・・・ 15 頁

「政策情報月報」に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします。

調査部 調整担当課長 肝付 恵津子  
(図書館長)

電 話 03 - 5320 - 7153

内 線 56 - 320

# 最近の動き

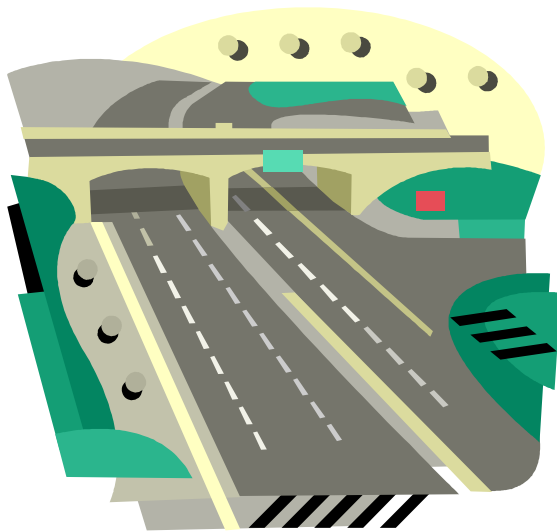
## 都の動き

日付については、事業主体の報道発表日を記載している。

<b>12月</b> (12月17日 ~31日)	次世代育成支援東京都行動計画の進捗状況について(17日、福祉保健局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUSA/2007/12/60hch400.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUSA/2007/12/60hch400.htm</a>
	大規模小売店舗立地審議会 答申について(18日、産業労働局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/KONDAN/2007/12/40hci300.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/KONDAN/2007/12/40hci300.htm</a>
	都営浅草線における輸送障害の再発防止策等について(19日、交通局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2007/12/20hcj200.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2007/12/20hcj200.htm</a>
	東京都における今後の薬物乱用対策推進について答申(20日、福祉保健局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/KONDAN/2007/12/40hci100.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/KONDAN/2007/12/40hci100.htm</a>
	東京都職員のOJT強化について(21日、総務局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2007/12/20hci100.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2007/12/20hci100.htm</a>
	「東京都産業振興指針」を策定(21日、産業労働局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2007/12/70hci100.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2007/12/70hci100.htm</a>
	東京都感染症予防計画の改定について答申(21日、福祉保健局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/KONDAN/2007/12/40hci200.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/KONDAN/2007/12/40hci200.htm</a>
	「10年後の東京」を目指した建物の耐震化の推進(21日、都市整備局、財務局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2007/12/70hci200.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2007/12/70hci200.htm</a>
	「10年後の東京」への実行プログラム2008を策定(21日、知事本局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2007/12/70hci300.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2007/12/70hci300.htm</a>
	「子育て応援都市東京・重点戦略」を策定(21日、福祉保健局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2007/12/70hcq100.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2007/12/70hcq100.htm</a>
	東京都学校法人寄附行為認可基準等の改正(25日、生活文化スポーツ局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2007/12/22hcp100.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2007/12/22hcp100.htm</a>
	NOx・PM法適合車のステッカー制度を国へ要請(25日、環境局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2007/12/20hcp200.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2007/12/20hcp200.htm</a>
	東京都がん対策推進計画(案)パブリックコメントを実施(25日、福祉保健局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2007/12/22hcp300.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2007/12/22hcp300.htm</a>
	住居喪失不安定就労者への支援業務、運営事業者を募集(25日、福祉保健局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2007/12/22hcp400.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2007/12/22hcp400.htm</a>
	環境確保条例の改正について(中間のまとめ)(26日、環境局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2007/12/22hcq100.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2007/12/22hcq100.htm</a>
	「健康安全研究センター新棟整備基本計画」を策定(26日、福祉保健局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2007/12/20hcq800.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2007/12/20hcq800.htm</a>
第2期東京都シカ保護管理計画(案)のとりまとめ(27日、環境局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2007/12/22hcr100.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2007/12/22hcr100.htm</a>	

<b>1月</b>  (1月4日 ~25日)	自立生活スタート支援事業を開始(27日、福祉保健局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2007/12/20hcr300.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2007/12/20hcr300.htm</a>
	教育管理職の任用・育成のあり方検討委員会第1次報告(10日、教育庁) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/KONDAN/2008/01/40i1a100.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/KONDAN/2008/01/40i1a100.htm</a>
	「中杉通り自転車道社会実験」を実施(10日、青少年・治安対策本部) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1a400.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1a400.htm</a>
	都独自の固定資産税等の軽減措置について(11日、主税局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1b300.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1b300.htm</a>
	19年度駅前滞留者対策訓練の実施(11日、総務局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1g100.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1g100.htm</a>
	自然環境保全のための人材育成プログラム認定第1号(16日、環境局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1g400.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1g400.htm</a>
	車を使わない環境にやさしい営業スタイルの取組(16日、環境局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1g500.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1g500.htm</a>
	I O Cへ申請ファイル提出(16日、東京初光℃ツ招致委) <a href="http://www.tocho-i.metro.tokyo.jp/news/2008/01/0116_sinseifile.htm">http://www.tocho-i.metro.tokyo.jp/news/2008/01/0116_sinseifile.htm</a>
	土砂災害警戒情報の提供を開始(17日、建設局、気象庁予報部) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1h400.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1h400.htm</a>
	東京都国民健康保険委員会答申～都調整交付金等(17日、福祉保健局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/KONDAN/2008/01/40i1i100.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/KONDAN/2008/01/40i1i100.htm</a>
	第1回東京都公益認定等審議会を開催(17日、生活文化℃-ツ局) <a href="http://www.tocho-i.metro.tokyo.jp/news/2008/01/0117_koueki.htm">http://www.tocho-i.metro.tokyo.jp/news/2008/01/0117_koueki.htm</a>
	東京都予算(原案)の概要等について(18日、財務局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2008/01/70i1i100.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2008/01/70i1i100.htm</a>
	三宅島空港へ航空路線を再開(18日、港湾局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1i200.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1i200.htm</a>
	20年度組織改正及び職員定数の概要(18日、総務局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1i400.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1i400.htm</a>
	20年度都監理団体所要人員計画の概要(18日、総務局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1i500.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1i500.htm</a>
	20年度都区財政調整について(18日、総務局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2008/01/70i1i100.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2008/01/70i1i100.htm</a>
	「東京マラソン2008」選手発表(18日、東京マラソン事務局) <a href="http://www.tocho-i.metro.tokyo.jp/news/2008/01/0118_marathon-runner.htm">http://www.tocho-i.metro.tokyo.jp/news/2008/01/0118_marathon-runner.htm</a>
東京都保健医療計画(第四次改定)原案(21日、福祉保健局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2008/01/22i1i200.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2008/01/22i1i200.htm</a>	
環境施策に寄与する財産利活用(21日、財務局、都市整備局、環境局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1i200.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1i200.htm</a>	

<b>1月</b> (1月4日 ~25日)	東京都健康推進プラン21新後期5か年戦略(案)(21日、福祉保健局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2008/01/22i11300.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2008/01/22i11300.htm</a>
	19年度東京都特別職報酬等審議会の答申(21日、総務局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/KONDAN/2008/01/40i1m100.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/KONDAN/2008/01/40i1m100.htm</a>
	「TOKYO2016招致公式応援グッズ」発売開始(22日、東京利ビッヅ招致委) <a href="http://www.tocho-i.metro.tokyo.jp/kokuti/event/2008/0122_0229.html">http://www.tocho-i.metro.tokyo.jp/kokuti/event/2008/0122_0229.html</a>
	東京都産業科学技術振興指針(素案)(24日、産業労働局、総務局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2008/01/22i1o100.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2008/01/22i1o100.htm</a>
	東京都耐震改修促進計画の変更(素案)について(24日、都市整備局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2008/01/22i1o300.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2008/01/22i1o300.htm</a>
	杉並区和田中学校における私塾連携の取組について(24日、教育庁) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1o800.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1o800.htm</a>
	東京都教育ビジョン(第2次)中間まとめ(24日、教育庁) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2008/01/22i1p200.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2008/01/22i1p200.htm</a>
	物納型オークションを開始(24日、主税局、東京納税貯蓄組合総連合) <a href="http://www.tocho-i.metro.tokyo.jp/news/2008/01/0124_auction.htm">http://www.tocho-i.metro.tokyo.jp/news/2008/01/0124_auction.htm</a>
	東京大気汚染訴訟和解に基づく医療費助成を実施(25日、福祉保健局) <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1p500.htm">http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1p500.htm</a>



「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の  
学習指導要領等の改善について」(答申)  
(文部科学省 中央教育審議会 1月17日)

授業時間30年ぶり増...中教審最終答申

中央教育審議会(文部科学大臣の諮問機関)は17日、小中学校の主要教科の授業時間を1割以上増やすことや、小学校での英語活動の実施などを盛り込んだ次期学習指導要領の最終答申を文部科学大臣に提出した。小中学校の授業時間が増加するのは30年ぶり。

答申は、昨年10月に公表された中間報告「審議のまとめ」をほぼ踏襲。「ゆとり教育」による学力低下の反省から、国語、算数・数学などの主要教科の授業時間を増やす一方、「ゆとり教育」の象徴だった総合学習の時間を削減し、小学5年から英語活動の時間を新設した。

教育再生会議が「徳育」として教科に盛り込むよう求めていた道徳については、事実上教科化を見送った。

この答申を受け、文部科学省は、小中学校については2月中旬までに改定案をまとめ、3月下旬ごろ新指導要領を告示する方針。高校は今年中に告示する。

(平成20年1月18日 読売新聞より)

小学校の標準授業時数

教科等	現行	改訂	増減
国語	1,377	1,461	+84
社会	345	365	+20
算数	869	1,011	+142
理科	350	405	+55
生活	207	207	0
音楽	358	358	0
図画工作	358	358	0
家庭	115	115	0
体育	540	597	+57
道徳	209	209	0
特別活動	209	209	0
総合学習	430	280	150
外国語	-	70	+70
合計	5,367	5,645	+278

中学校の標準授業時数

教科等	現行	改訂	増減
国語	350	385	+35
社会	295	350	+55
数学	315	385	+70
理科	290	385	+95
音楽	115	115	0
美術	115	115	0
保健体育	270	315	+45
技術・家庭	175	175	0
外国語	315	420	+105
道徳	105	105	0
特別活動	105	105	0
選択教科	155~ 280	0	155~ 280
総合学習	210~ 335	190	20~ 145
合計	2,940	3,045	+105

([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.htm))



社会保障カード（仮称）の基本的な構想に関する報告書（案）

（厚生労働省 1月21日）

年金・医療・介護の「社会保障カード」 本人確認 4案併記

厚生労働省の検討会（社会保障カード（仮称）の在り方に関する検討会）は21日、年金手帳や健康保険証、介護保険証を1枚にまとめた社会保障カード（仮称）の導入に向けた報告書案を公表した。政府は平成23年度の実現を目指している。

国が年金記録や健康状態などの高度の個人情報を一元的に把握することについて、プライバシー侵害や情報漏れを懸念する意見も根強い。このため、報告書案では、カード本体に盛り込む情報は本人確認に必要な最小限の情報に限定するとし、

各制度共通の新設の社会保障番号

カードにあらかじめ組み込まれる固有の識別記号

現行の制度別の被保険者番号

氏名、生年月日、性別、住所の4情報のみ（番号なし）

という4案を挙げた。

検討会では、報告書案に対する意見を国民から公募し、今夏までにどの方式を採用するのか結論を出し、内閣官房や総務省など政府内での調整を進める。

（平成20年1月22日 朝日新聞より）

（<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/01/s0121-9.html>）



平成20年度の国民負担率について

（財務省 1月23日）

国民負担率40.1% 来年度 過去最高を更新へ

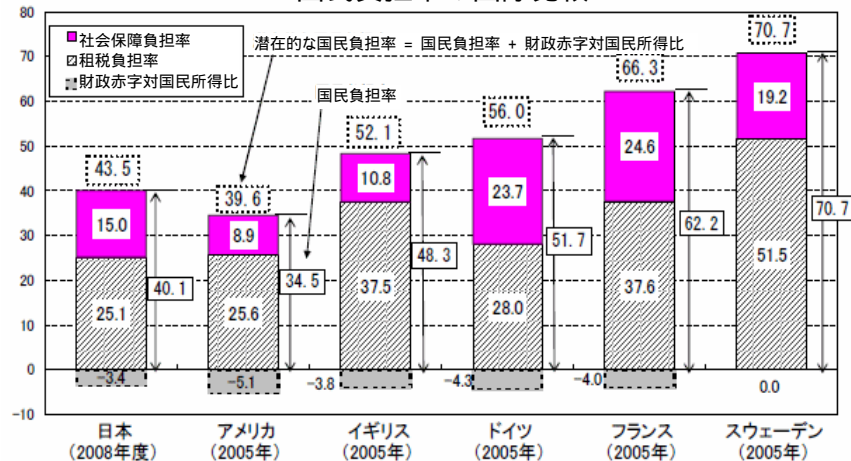
財務省は23日、国民負担率（国民の税金と社会保障費の負担合計が国民所得に占める割合）が平成20年度は40.1%となり、3年連続で過去最高を更新する見通しになったと発表した。平成19年度実績見込みと比べ0.1ポイント上昇する見通しで、対前年度増加は5年連続。高齢化の進行により年金など社会保障負担が増えるためだ。

国民負担率のうち租税負担率は25.1%、社会保障負担率は15.0%で、平成19年度に比べ社会保障負担がわずかに伸びる。平成20年度の国民所得は前年度比1.8%増の384兆4,000億円となるが、社会保障負担はこの伸び率を上回るといふ。

（平成20年1月24日

毎日新聞より）

国民負担率の国際比較



（<http://www.mof.go.jp/jouhou/syukei/futan.htm>）

## 法律などの動き

第 168 回国会（臨時会）で成立した法律（26 件）

	件 名
内閣提出	消費生活用製品安全法の一部を改正する法律 *1
	電気用品安全法の一部を改正する法律 *1
	気象業務法の一部を改正する法律 *1
	銃砲刀剣類所持等取締法及び武器等製造法の一部を改正する法律 *1
	温泉法の一部を改正する法律 *1
	一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律
	労働契約法
	最低賃金法の一部を改正する法律
	社会福祉士及び介護福祉士法等の一部を改正する法律
	裁判官の報酬等に関する法律の一部を改正する法律
	検察官の俸給等に関する法律の一部を改正する法律
	防衛省の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律
	放送法等の一部を改正する法律
	テロ対策海上阻止活動に対する補給支援活動の実施に関する特別措置法
議員立法	被災者生活再建支援法の一部を改正する法律 *2
	国会議員の秘書の給与等に関する法律の一部を改正する法律
	中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律
	身体障害者補助犬法の一部を改正する法律
	厚生年金保険の保険給付及び保険料の納付の特例等に関する法律
	老人福祉法の一部を改正する法律
	借地借家法の一部を改正する法律
	犯罪利用預金口座等に係る資金による被害回復分配金の支払等に関する法律
	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律案
	政治資金規正法の一部を改正する法律
行政書士法の一部を改正する法律	
特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固第 因子製剤による C 型肝炎感染被害者を救済するための給付金の支給に関する特別措置法	

\* 1 改正内容の詳細は、10 月号（p.6）をご覧ください。

\* 2 改正内容の詳細は、11 月号（p.5）をご覧ください。

（[http://www.shugiin.go.jp/index.nsf/html/index\\_gian.htm](http://www.shugiin.go.jp/index.nsf/html/index_gian.htm)）

（平成 20 年 1 月 15 日 毎日新聞より）



## Topic 1

### 地方税収をめぐる議論

#### 税収格差是正の影響額試算 総務省

都市と地方の税収格差を是正するため、政府がまとめた措置による各都道府県の歳入への影響に関する総務省の試算が明らかになった。税収が減ると指摘されていた東京都と愛知県、大阪府に加え、栃木、静岡、三重、滋賀の4県も減収となる。これによって4,000億円の財源が確保され、残りの40道府県に移譲される。政府は「地方法人特別税暫定措置法案」を通常国会に提出し、是正策を実現したい考えだ。

政府の是正策は、都市部に偏りがちな法人事業税の一部を国税の地方法人特別税に衣替えし、税収の少ない自治体に地方法人特別譲与税として手厚く配分する内容。

試算では、東京都が3,268億円、愛知県が433億円、大阪府が222億円の減収となり、栃木、静岡、三重、滋賀4県も10億～51億円減る。東京と愛知以外は減収分の75%が交付税で穴埋めされるため、実際の減収額は25%にとどまる。

(平成20年1月19日 朝日新聞より)

東京都の試算によると、平成21年度で約2,800億円、平成22年度で約3,200億円の減収

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2008/01/70i1i104.htm>

都道府県	是正による歳入の増減	都道府県	是正による歳入の増減
北海道	484	滋賀県	10
青森県	124	京都府	26
岩手県	130	大阪府	222
宮城県	107	兵庫県	183
秋田県	120	奈良県	115
山形県	113	和歌山県	55
福島県	90	鳥取県	54
茨城県	20	島根県	65
栃木県	29	岡山県	30
群馬県	59	広島県	26
埼玉県	310	山口県	20
千葉県	196	徳島県	35
東京都	3268	香川県	28
神奈川県	74	愛媛県	82
新潟県	110	高知県	83
富山県	42	福岡県	182
石川県	30	佐賀県	55
福井県	10	長崎県	154
山梨県	1	熊本県	146
長野県	110	大分県	70
岐阜県	99	宮崎県	112
静岡県	51	鹿児島県	164
愛知県	433	沖縄県	118
三重県	20		

#### 税収不足で赤字地方債 80自治体が計1800億円 総務省

政府は1月15日、景気減速の影響で平成19年度の地方税収入が当初見積もりより大幅に減る見込みとなったことから、減収分を補てんする地方債(赤字地方債)の発行を認めることを決めた。

建設事業でなく減収補てんを目的とした地方債発行を認めるのは5年ぶりで、戦後3回目の異例の措置。80自治体が計約1,800億円の発行を希望している。

総務省の調査によると、都道府県では北海道など15道府県が総額約1,400億円の減収補てん債の発行を希望。このうち宮城、千葉、新潟、兵庫、岡山の5県は補てん債が発行できなければ、赤字に転落する可能性がある。

このほか、政令市では仙台、千葉、横浜、名古屋、大阪、神戸、福岡の7市で計約280億円、市町村は58市町村で計約130億円の発行を希望している。

増田総務相は、1月15日の記者会見で「法律が成立する前提で各県が平成20年度予算を編成するので、影響が大きい」と述べ、地方財政法と地方交付税法の改正案の早期成立を期す考えを示した。

(平成20年1月15日 共同通信より)

## 道路特定財源の暫定税率廃止 自治体に打撃 総務省

平成 20 年 3 月末に期限切れとなる道路特定財源の暫定税率が廃止された場合、地方で減収となる約 9,000 億円の都道府県別の内訳が、総務省試算で明らかになった。市町村分を含めて減収額が最も大きいのは、北海道の 578 億円。最小の鳥取でも 52 億円に上り、財政規模の小さな自治体に、より大きな打撃になることが予想される。

暫定税率分の税収は、自治体によって年間の税収総額に占める割合が一割近くに達するところもあり、廃止されると厳しい財政事情に追い打ちをかける。

国の道路予算は、全額を道路特定財源でやりくりしているのに対し、地方の道路事業は、道路特定財源だけでは足りず一般財源や地方債による借金を充てているのが実情であり、道路整備の水準を維持しようとするれば、一般財源で賄われている福祉分野などへの影響が懸念されている。

(平成 20 年 1 月 22 日 東京新聞より)

暫定税率廃止に伴う都道府県別減収額

北海道	578	滋賀県	108
青森県	135	京都府	127
岩手県	153	大阪府	393
宮城県	206	兵庫県	324
秋田県	113	奈良県	70
山形県	107	和歌山県	64
福島県	222	鳥取県	52
茨城県	294	島根県	69
栃木県	204	岡山県	177
群馬県	187	広島県	209
埼玉県	415	山口県	133
千葉県	375	徳島県	68
東京都	505	香川県	86
神奈川県	390	愛媛県	106
新潟県	246	高知県	60
富山県	110	福岡県	326
石川県	109	佐賀県	82
福井県	76	長崎県	89
山梨県	68	熊本県	147
長野県	209	大分県	99
岐阜県	187	宮崎県	106
静岡県	318	鹿児島県	143
愛知県	563	沖縄県	69
三重県	190	合計	9064

(単位:億円 四捨五入のため合計は不一致)

### 地方 6 団体が税率維持要望

全国知事会など地方 6 団体と政府との定期意見交換会が 1 月 21 日、首相官邸で開かれ、6 団体はガソリン税の暫定税率維持を求めた。麻生全国知事会長は町村官房長官らに対し、「(暫定税率が)廃止されれば、地方財政に甚大な影響を与える。財政的に成り立っていかない」と訴えた。

地方 6 団体はこの後、東京都内で記者会見し、道路特定財源確保緊急対策本部を立ち上げ、政府・与党への働きかけを強め、地方の深刻さを訴えることを明らかにした。

(平成 20 年 1 月 21 日 朝日新聞より)

1 月 23 日に東京・永田町の憲政記念館で開かれた「道路特定財源堅持を求める都道府県議会議員総決起大会」には 44 都道府県から約 450 人の地方議員らが参加し、

道路の「中期計画」を実行するため、現行税率を維持するための関連法案を年度内に確実に成立させる。

高速道路網の早期整備

などを採択した。

(平成 20 年 1 月 24 日 読売新聞より)

東京都、神奈川県など首都圏 7 都県市で構成する「首都圏中央連絡自動車道建設促進会議」も 1 月 23 日、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)をはじめとする首都圏の三環状道路の建設財源となっている道路特定財源の暫定率を維持するよう国などに緊急要望した。

[http://www.pref.ibaraki.jp/news/2008\\_01/n080123\\_01.pdf](http://www.pref.ibaraki.jp/news/2008_01/n080123_01.pdf)

## Topic2

### 地方分権改革をめぐる動き

#### 「地域・生活者起点で日本を洗濯(選択)する国民連合」発足

北川前三重県知事や宮崎県の東国原知事らが1月20日、都内で記者会見し、真の改革を推進するための国民運動組織「地域・生活者起点で日本を洗濯(選択)する国民連合」(略称・せんたく)を発足させたと発表した。2月上旬から活動を本格化させる。

「せんたく」は民間有識者で結成する「新しい日本をつくる国民会議」(21世紀臨調)を母体とし、北川氏が発起人代表を務める。発起人には松沢神奈川県知事、山田京都府知事、古川佐賀県知事らのほか、財界から池田資生堂相談役、茂木キックマン会長、労働界から古賀連合事務局長が名を連ねている。

北川氏は「今の国会の現状は、国民に選択を求めるだけの議論や体系的な政策がない」と指摘。そのうえで、「『平成の民権運動』を立ち上げ、政党政治家に真剣な議論を促すプラットフォームを提供する」と述べた。次期衆院選で国民の政権選択を可能にするためにも、賛同する国会議員連合の結成を促し連携していく考え。

具体的には、

- (1) 日本人の生き方や働き方のありようを含めた国民の意識改革
- (2) 脱官僚、脱中央集権、地方分権の実現
- (3) 地域、地方、生活者起点の政策、国家像練り直し

をキーワードに議論を進め、各党のマニフェストの明確化、具体化を迫る。

「せんたく」の名は「日本を今一度せんたくいたし申候」と記した幕末の志士、坂本龍馬を意識して命名したという。  
(平成20年1月21日 産経新聞より)



#### 地方支分部局改め出先機関に 地方分権改革推進委員会

地方支分部局の抜本的な見直しを提言している地方分権改革推進委員会は1月23日の会合で、地方支分部局という文言を改め、「国の出先機関」に統一することを決めた。猪瀬直樹委員の提言を受けたもので、同席した増田総務相も同意した。

猪瀬氏が「普通の人に分かる言葉に統一した方がいい」と提案。増田氏は「岩手県知事の時に『出先機関がいい』と提案したが、(国の職員に)出先とはなにごとか、と言われた」などと応じた。

(平成20年1月24日 毎日新聞より)



### Topic3

#### その他の地方の動き等

#### 住宅耐震化 改修 1万7798戸

古い耐震基準で建てられた住宅のうち約 100 万戸を、平成 27 年までに耐震改修させる目標を政府が掲げる中、国や自治体の補助金を使った改修が、平成 19 年 3 月までに全国で 17,798 戸にとどまることが分かった。政府は改正耐震改修促進法に基づき、国内全住宅の 9 割の耐震化を目指す。達成は厳しい情勢に陥っている。各県も独自の目標を立てたものの、19 道県は実績なしと、地域により差が生じている。

阪神大震災以降、補助金を使った耐震診断・改修の戸数を全都道府県に調査したところ、改修実績が 1、2 位の静岡(6,293 戸)、愛知(4,362 戸)でも目標を下回っており、大幅に下回る県が大半であった。

共同住宅の改修は全国で 35 棟。費用が膨らむことや住民の意思をまとめる必要があるほか、自治体も戸建てへの補助を優先している。県内すべての市町村で制度を導入しているのは埼玉、兵庫、岡山の 3 県だけだった。

国の補助制度は、国と同額以上を自治体が補助することが前提。国土交通省建築指導課は「補助を使っていない耐震改修もあるとみられるが、厳しい数字だ。国として目標に対する進行状況を把握することを考えたい」としている。

(平成 20 年 1 月 13 日 毎日新聞より)

補助金が使われた住宅耐震診断と改修 (単位:戸数)

都道府県	戸建て		共同住宅		都道府県	戸建て		共同住宅	
	診断	改修	診断	改修		診断	改修	診断	改修
北海道	31	×	×	×	滋賀県	4,448	36	0	×
青森県	×	×	×	×	京都府	2,636	8	×	×
岩手県	1,462	9	×	×	大阪府	1,763	39	5,580	0
宮城県	6,127	955	5,637	×	兵庫県	13,854	350	33,799	106
秋田県	×	×	×	×	奈良県	727	17	0	×
山形県	85	×	×	×	和歌山県	5,287	123	×	×
福島県	207	×	×	×	鳥取県	34	0	8棟	×
茨城県	1,618	0	×	×	島根県	185	×	×	×
栃木県	8	1	×	×	岡山県	476	0	0	×
群馬県	229	5	×	×	広島県	454	3	0	×
埼玉県	612	58	186	0	山口県	120	×	×	×
千葉県	990	74	372	×	徳島県	2,657	169	×	×
東京都	9,792	693	10,597	1,603	香川県	×	×	×	×
神奈川県	24,440	1,108	62,670	507	愛媛県	494	×	×	×
新潟県	997	41	0	×	高知県	3,803	73	×	×
富山県	275	28	×	×	福岡県	514	14	870	264
石川県	101	8	0	0	佐賀県	×	0	×	×
福井県	982	×	×	×	長崎県	31	3	×	×
山梨県	3,338	47	×	×	熊本県	115	×	×	×
長野県	21,587	332	×	×	大分県	20	×	×	×
岐阜県	2,100	150	50	0	宮崎県	165	×	×	×
静岡県	47,352	6,293	214	0	鹿児島県	×	×	×	×
愛知県	68,165	4,362	1,113	×	沖縄県	×	×	×	×
三重県	13,878	319	0	×	合計	242,159	15,318	121,088	2,480

毎日新聞調べ



# 経済の動き

## 国内の動き

～内閣府「月例経済報告 平成20年1月18日」(主に平成19年11月の状況)による。～  
注：下線部は前回月例報告時からの変更点、( )内は前月の報告内容を示す。

### (我が国経済の基調判断)

景気は、一部に弱さがみられるものの、回復している。

- 企業収益は、改善に足踏みがみられる。設備投資は、緩やかに増加している。
- 雇用情勢は、厳しさが残るなかで、このところ改善に足踏みがみられる。
- 個人消費は、おおむね横ばいとなっている。▼(下げ止まりつつあるものの、)
- 住宅建設は、持ち直しの動きがみられるものの、依然として低い水準にある。
- 輸出は、増加している。生産は、緩やかに増加している。

先行きについては、企業部門が底堅く推移し、景気回復が続くと期待される。一方、サブプライム住宅ローン問題を背景とするアメリカ経済の下振れリスクや金融資本市場の変動、原油価格の動向が内外経済に与える影響等には留意する必要がある。

### (政策の基本的態度)

政府は、平成19年12月19日、「平成20年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」を閣議了解した。同月24日、平成20年度予算政府案(概算)を閣議決定した。また、平成20年1月18日、経済財政に関する政府の新しい中期方針と展望を示した「日本経済の進路と戦略 - 開かれた国、全員参加の成長、環境との共生 - 」及び「平成20年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」を閣議決定し、平成20年度予算を国会に提出した。政府は、「日本経済の進路と戦略」と「経済財政改革の基本方針2007」を一体として、改革を推進する。

原油価格の高騰にかんがみ、政府は、平成19年12月25日に「原油価格の高騰に伴う中小企業、各業種、国民生活等への緊急対策の具体化について(取りまとめ)」を取りまとめた。また、財政規律を緩めないとの方針の下で、国民生活の安全・安心、地域活性化、原油価格高騰対応等にも配慮した補正予算を同月20日に閣議決定した。

民間需要主導の持続的な成長を図るとともに、これと両立する安定的な物価上昇率を定着させるため、政府と日本銀行は、上記基本方針に示されたマクロ経済運営に関する基本的視点を共有し、政策運営を行う。

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2008/0118getsurei/main.html>

## 都内の動き

主要経済指標（平成19年11月を中心とする）について

出典：東京都産業労働局 「産業・雇用就業統計（平成20年1月）」

東京都都市整備局 「報道発表資料・住宅着工統計」

家計消費支出（東京都区部） 11月は、前年同月比で減少した。

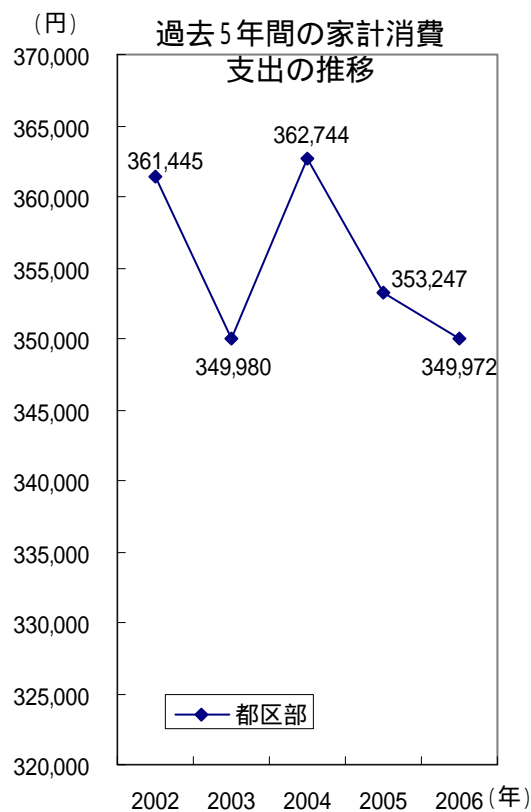
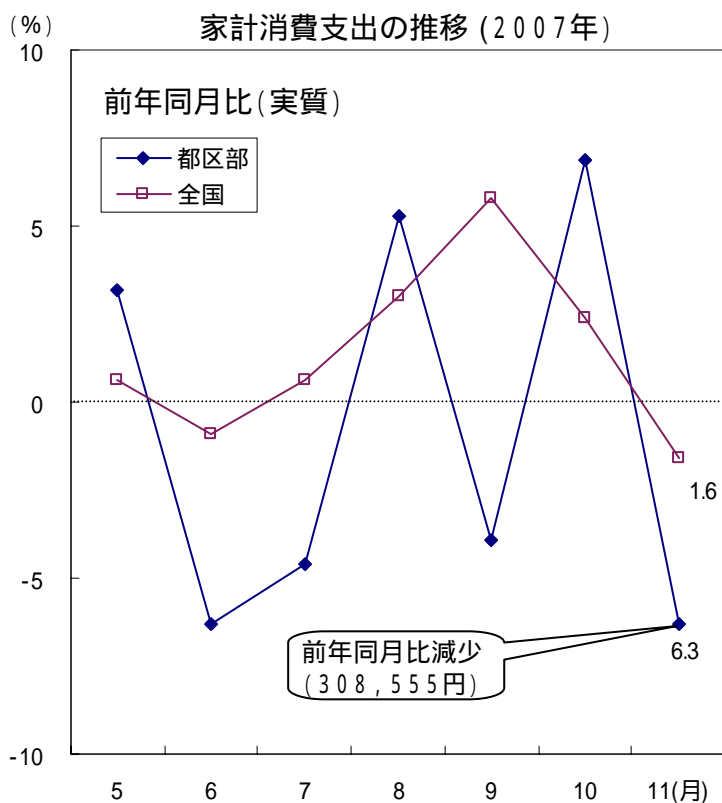
新設住宅着工戸数（東京都） 11月は、前年同月比で大幅に減少した。

東京都工業指数（東京都） 生産は、2か月ぶりに増加した。

完全失業率（東京都） 7 - 9月は3.4%であった。

有効求人倍率（東京都） 11月は1.32と、10月（1.34）より下降した。

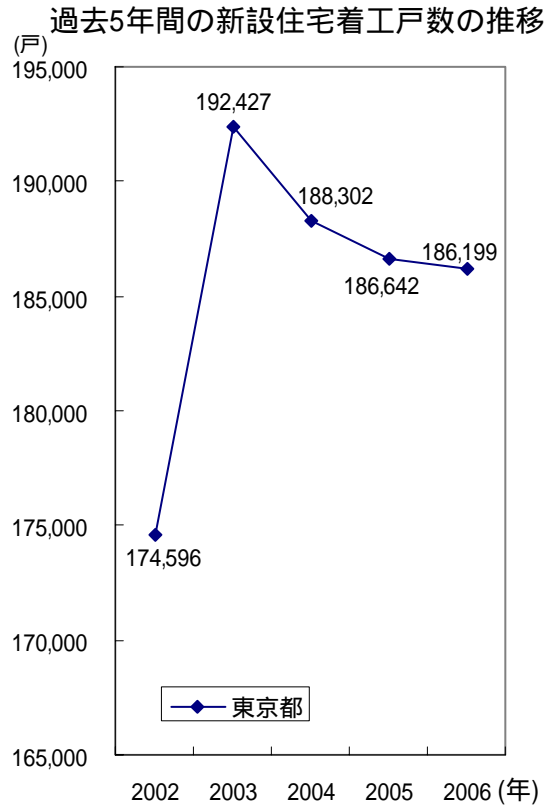
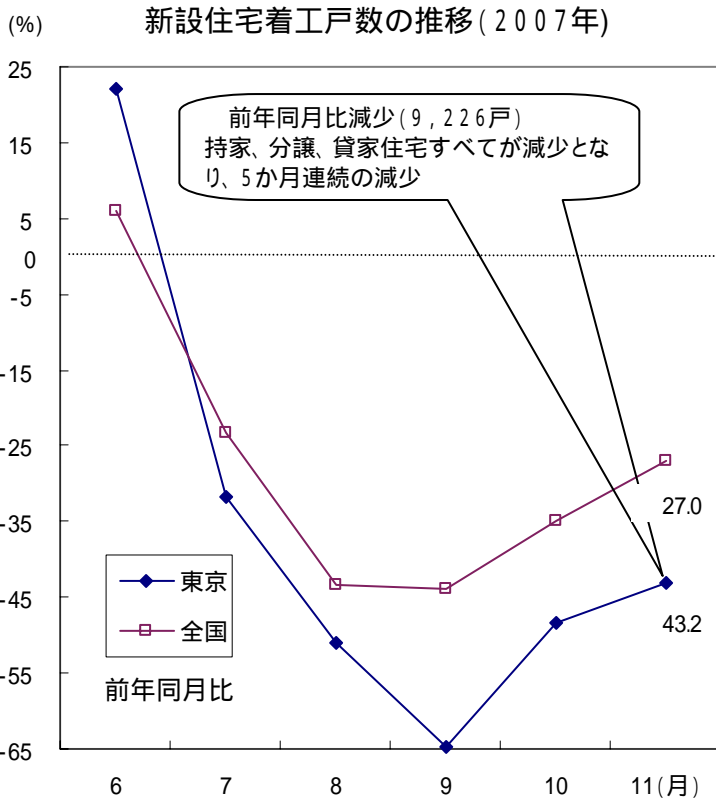
### 家計消費支出は2か月ぶりの減少（前年同月比）



資料 総務省「家計調査」



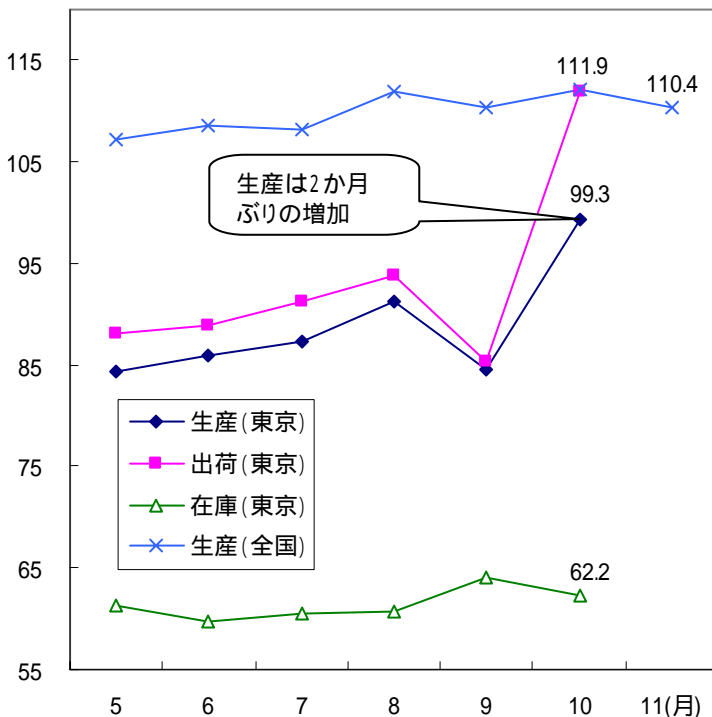
## 新設住宅着工戸数は5か月連続の減少（前年同月比）



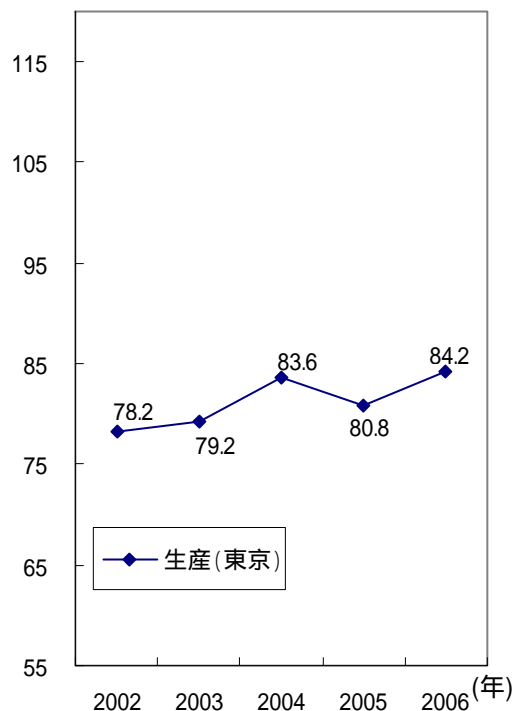
資料 国土交通省「建築着工統計調査報告」

## 生産は2か月ぶりの増加

(2000年平均 = 100) 工業指数の推移  
(2007年、季節調整済:速報値)



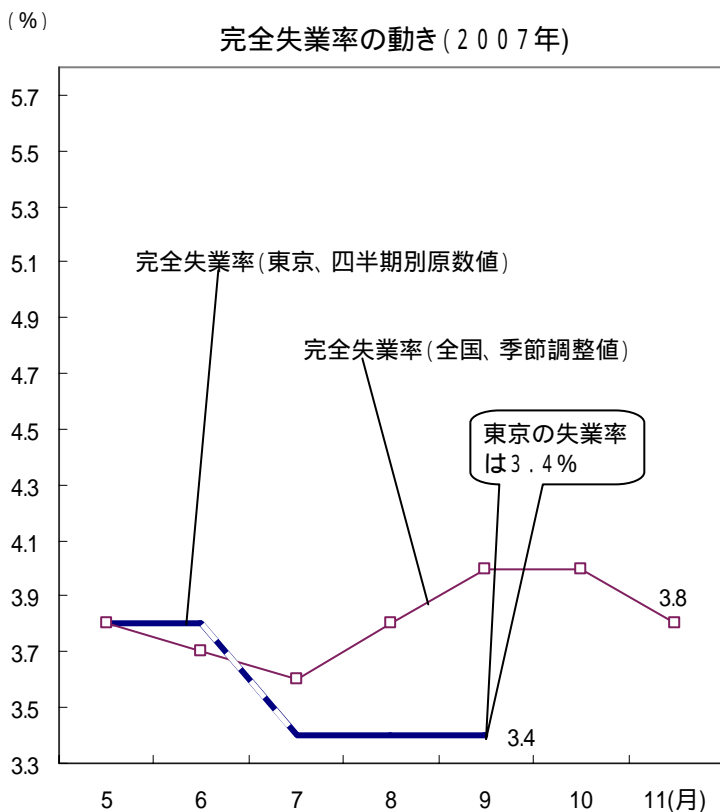
過去5年間の東京都工業指数  
(2000年平均 = 100)



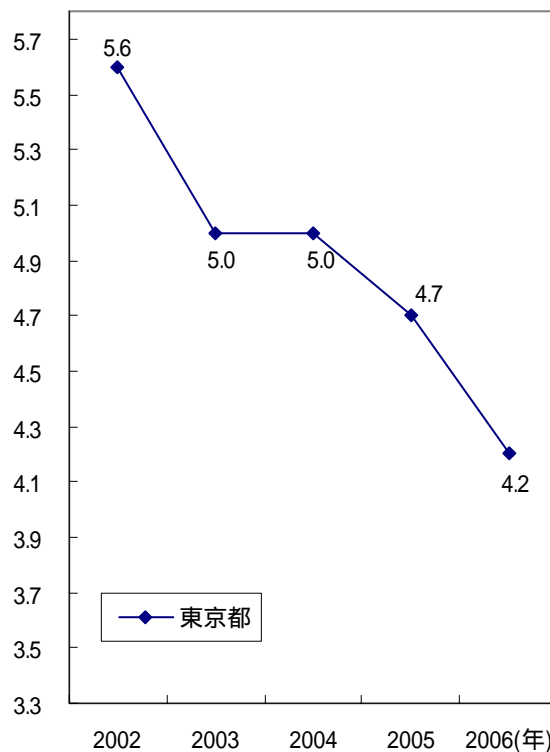
注 全国は鉱工業の指数である。

資料 東京都総務局「東京都工業指数月報」、経済産業省「鉱工業生産・出荷・在庫指数」

## 7 - 9月の完全失業率は3.4%

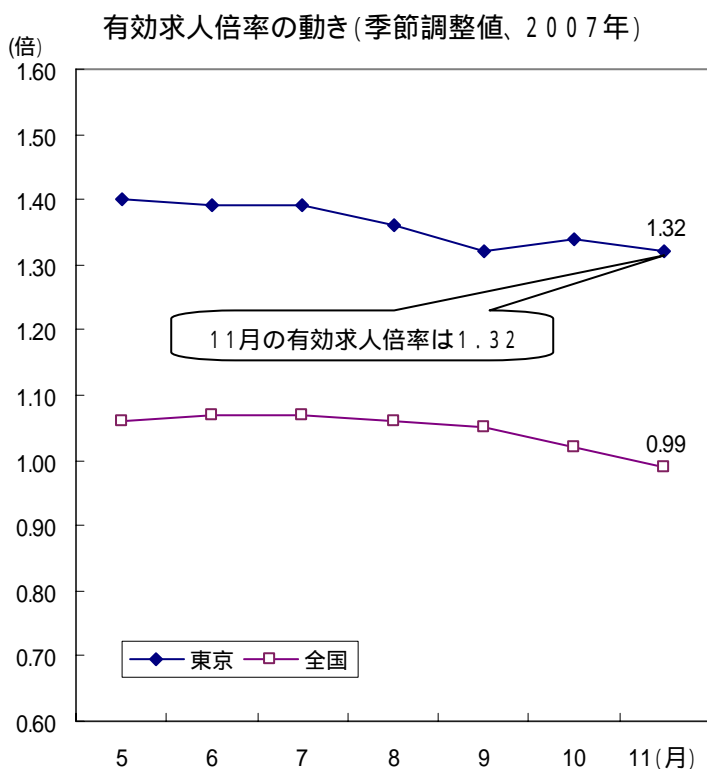


(%) 過去5年間の完全失業率の動き(東京都)

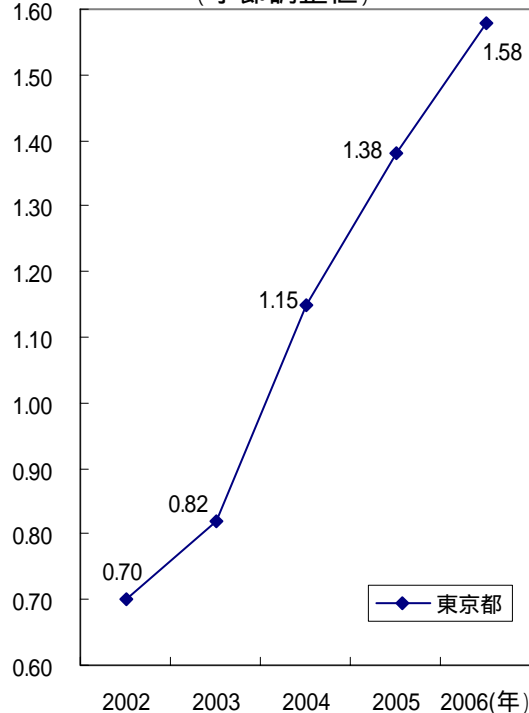


資料 東京都総務局「東京の労働力」、総務省「労働力調査」  
(東京の失業率は、7 - 9月の数値が最新のデータとなっている。)

## 有効求人倍率は1.32に下降



(倍) 過去5年間の有効求人倍率の動き(季節調整値)



資料 厚生労働省、東京労働局「職業安定業務統計」、「報道発表資料」

## 図書館からのお知らせ

図書館の新着図書のなかから、ピックアップしてご紹介いたします。



### 地方債改革の経済学

土居 丈朗（慶應義塾大学経済学部准教授）著  
（日本経済新聞社）

#### 《目次》

- 第1章 地方財政の危機
- 第2章 地方債は自治体に何をもたらしたか
- 第3章 借り手意識を持たない地方債の構造
- 第4章 自治体は破綻しないのか
- 第5章 諸外国に学ぶ：地方債の比較制度分析
- 第6章 地方債制度の新たな動き
- 第7章 今後の地方債改革に向けて 政策提言

### 解説

平成18年6月、北海道夕張市の財政危機は「夕張ショック」として、地方財政関係者に様々な衝撃を与えた。財政規模に比較して巨額の債務を抱えていることを表明したのである。翌年3月、夕張市は財政再建団体の申請を行った。

わが国の地方債制度は、これまで、国の保護を受けながら低利で借りたい自治体と、自治体の債務不履行がないように望む民間金融機関との利害を、国が地方債に「暗黙の保証」を与えることで守ってきた。政府は「地方債はデフォルトしない」と公式見解を出し続けてきた。しかし、財政破綻団体が出てしまったのである。さらには、他の自治体でも外郭団体で実際に債務不履行が起きた。

本書は、わが国の地方債制度において、いま、何が問題で、今後どのように改革すべきか、経済学の見地から客観的に考察したものである。

筆者は「近年、わが国で地方債をめぐる新たな取組みが進められているが、改革は不十分」と述べ、元利償還金の交付税措置の即時廃止、民間による地方債保証の活用や地域別共同発行などの提言を試みている。

「地方債改革の経済学」のほか、下記の図書を含め、1月には72冊の新着図書がございます。

国益と外交	小原雅博 著(日本経済新聞出版社)
国際テロリズム 101 問	阿部川元伸 著(立花書房)
自治体のクレジット収納	柏木 恵 著(学陽書房)
条例のある街	野沢和弘 著(ぶどう社)
世界大規模投資の時代	長谷川慶太郎 著(東洋経済新報社)
地域医療最前線	日野秀逸 編著(自治体研究社)
地域主権型道州制	江口克彦 著(PHP 研究所)
福祉ガバナンス宣言	岡澤憲芙 ほか編(日本経済評論社)
不祥事はなぜ繰り返されるのか	武井 勲 著(扶桑社)
まちづくり条例の作法	野口和雄 著(自治体研究社)

議会図書館では、議員の皆様の調査・研究活動に役立てていただくよう図書、資料の充実に努めております。どうぞ、ご活用ください。

### 蔵書検索サービスをご利用ください



議員用パソコンのデスクトップ上の“蔵書検索サービス”アイコンをクリックしてください。

東京都議会図書館の蔵書の検索のほか、各月に購入した図書の一覧（近着図書ニュース）などがご覧いただけます。